

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 25 年 5 月 2 日 (2013.5.2)

【公開番号】特開 2013-8691 (P2013-8691A)
 【公開日】平成 25 年 1 月 10 日 (2013.1.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-002
 【出願番号】特願 2012-196503 (P2012-196503)
 【国際特許分類】

H 0 1 M 2/02 (2006.01)

H 0 1 M 2/06 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 2/02 K

H 0 1 M 2/06 K

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 3 月 13 日 (2013.3.13)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上部シート、

下部シート、

上部シートと下部シートとがシールされる第 1 シーリング部、及び、

上記第 1 シーリング部の一部又は全部に接着される第 2 シーリング部を有し、

上記第 2 シーリング部は上記第 1 シーリング部の外部に位置することを特徴とするパウチ。

【請求項 2】

上記第 2 シーリング部は、少なくとも一面が電気絶縁性を有する物質で塗布されるアルミニウム金属箔テープ、又は、アルミニウム金属箔テープで形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のパウチ。

【請求項 3】

上記電気絶縁性を有する物質は、ポリオレフィン系高分子、ポリエステル系高分子、およびナイロンの中から選ばれることを特徴とする請求項 2 に記載のパウチ。

【請求項 4】

上記第 2 シーリング部の厚さは 0.1 ~ 400 μm であることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載のパウチ。

【請求項 5】

上記第 2 シーリング部は、電極タブが配置される領域を除いた部位に形成されることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載のパウチ。

【請求項 6】

上記電極タブは同じ方向に形成されることを特徴とする請求項 5 に記載のパウチ。

【請求項 7】

上記電極タブは互いに異なる方向に形成されることを特徴とする請求項 5 に記載のパウチ。

【請求項 8】

上記第 2 シーリング部が上記第 1 シーリング部の一部に形成される場合、上記第 2 シー

リング部は、上記第 1 シーリング部の端部面から形成されることを特徴とする請求項 1 に記載のパウチ。

【請求項 9】

上記上部シートおよび上記下部シートは、それぞれ内部層、金属層および外部層が順次積層されて構成されることを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれか 1 項 に記載のパウチ。

【請求項 10】

上記第 2 シーリング部は上記第 1 シーリング部の外部で上記第 1 シーリング部の一部又は全部を包囲することを特徴とする請求項 1 に記載のパウチ。

【請求項 11】

上記第 2 シーリング部は上記第 1 シーリング部の外側断面に形成されることを特徴とする請求項 1 に記載のパウチ。

【請求項 12】

請求項 1 から 11 のいずれか 1 項 に記載のパウチを用いた二次電池。

【請求項 13】

上記二次電池はリチウム二次電池であることを特徴とする請求項 12 に記載の二次電池。